

新 春 を 迎 え て

兵庫県農業共済組合連合会
会長理事 鷲尾 弘 志

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃は、NOSA I の事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年、水稲の収穫期に台風 17 号が本州を縦断しましたが、幸い本県農業への影響は比較的軽微なものでありました。一方で、4月の「爆弾低気圧」の通過で多くの園芸施設が被害を受けるなど、自然災害の怖さを改めて痛感させられました。また、シカ・イノシシなどの野生動物による獣害が多く地域で発生しており、「農業者の耕作意欲を挫いてしまう」との悲痛な声を聞きます。NOSA I の基本的役割である「損害の補てんと未然防止」を確実に果たすことの必要性和重要性を改めて感じるところであります。

さて、昨年末には突然の衆議院選挙が行われ、新たな政治勢力図が形成されました。選挙の争点の一つとなったTPP（環太平洋経済連携協定）については、今後、政府がどのような対応をとるか不透明であります。農業分野の問題に止まらず、わが国の様々な制度や仕組みに大きな影響を与えることは明らかであり、NOSA I 団体としても交渉への参加には、断固反対の決議をしたところであります。

本会は、一昨年、農林水産省から必要措置命令を受けました。特に、建物共済の加入資格問題につきましては、ご加入者をはじめ関係各位に多大なご迷惑をお掛けしておりますことを改めてお詫び申し上げます。現在、適正な事業運営に努めるべく、組織を挙げてコンプライアンス態勢の確立に取り組んでおります。

今年の干支「巳」は、動物に当てはめると「蛇」。古来より豊穰神、天候神として稲作・農業の守り神とされていることはよく知られています。本来は、草木の生長が極限に達して次の生命が作られ始める時期、転じて「起こる」「始まる」などの意味があるそうです。「巳」年の今年を字義のとおり「再起」の年と位置づけ、農家・国民に信頼される事業運営を確立するよう、決意を新たにしております。

これから建物共済の契約更新期を迎えますが、NOSA I 事業の健全な発展と本年度の事業推進計画の達成に向けて、格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。